

広報

まつだい

1985/12月

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 昭和60年12月26日

第313号



写真提供者 万羽卓司

《人口の動き》 男3,013(-6) 女3,048(-4) 計6,061(-10) 世帯数1,662(-3)

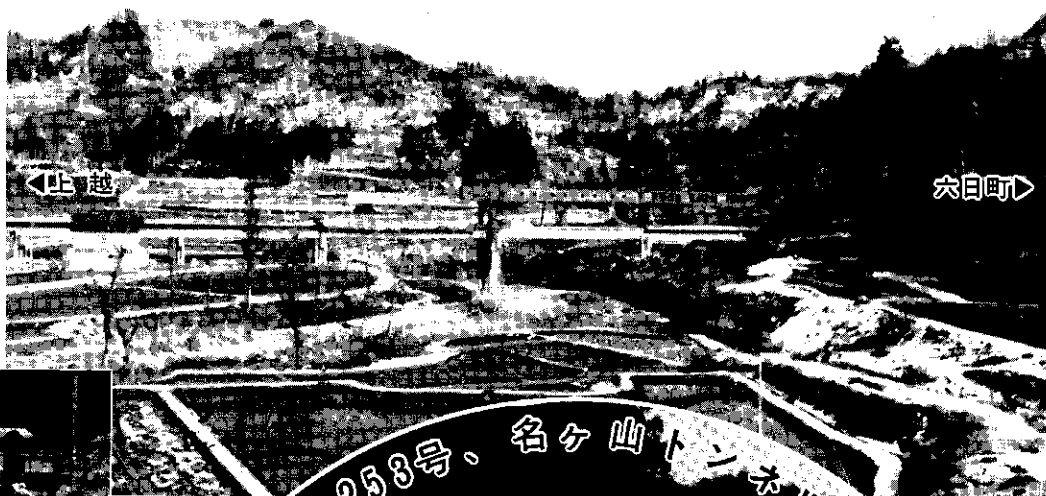
12月1日現在 出生2 死亡5 転入17 転出24

北越北線工事再開される！



写真でみる町内“85”

渋海川橋梁PC
桁架設される ▶
(小荒戸地内)



国道253号、名ヶ山トンネル開通



5月3日

91名が大人の仲間入り

10月22日 延長1,155m 幅員6.0m



復旧田面積 201ha
復旧事業費 66,545千円(県、国)

4月1日付で
田代部落
高柳町へ

—概要—

- ・世帯……31世帯
- ・人口……男49人、女42人
- ・面積……0.74km²



秋山町長五選

投票率 93.12%
5月17日

早稲田大学生
延2,000人来町



マンドリンクラブ 8月8日～8月11日

- 6月14日
松代町交通安全
指導員に女性3
名が仲間入り
- 7月31日
幼年消防クラブ
結成される

清水小学校竣工なる！

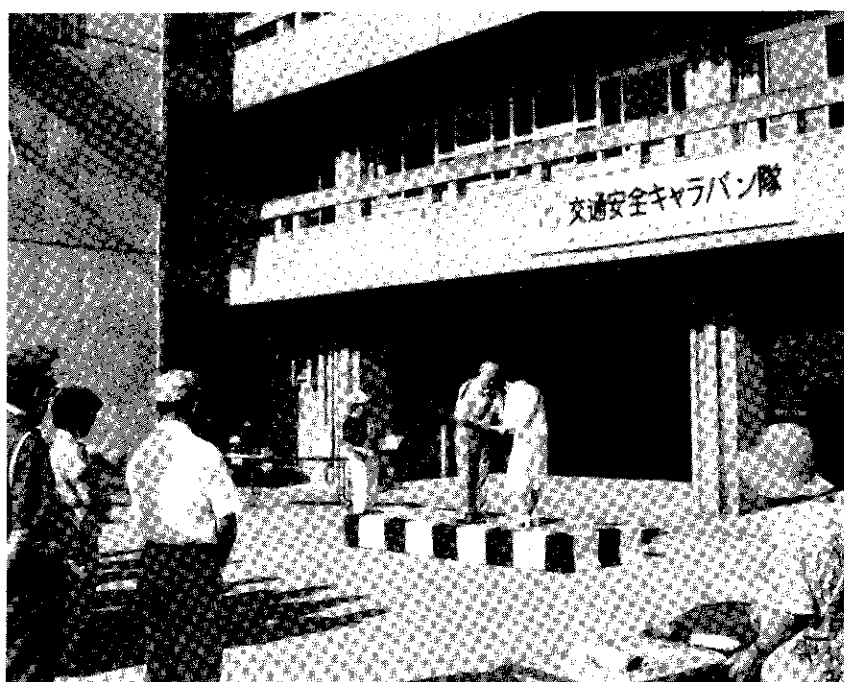


工事費約18,000万円 総床面積 1,122㎡
工期 60.5.1～11.30日



◀10月10日第7回町民
健康マラソン大会開
催される

●10月1日第14回国勢調査
実施される
人口6,026人、1,753世帯

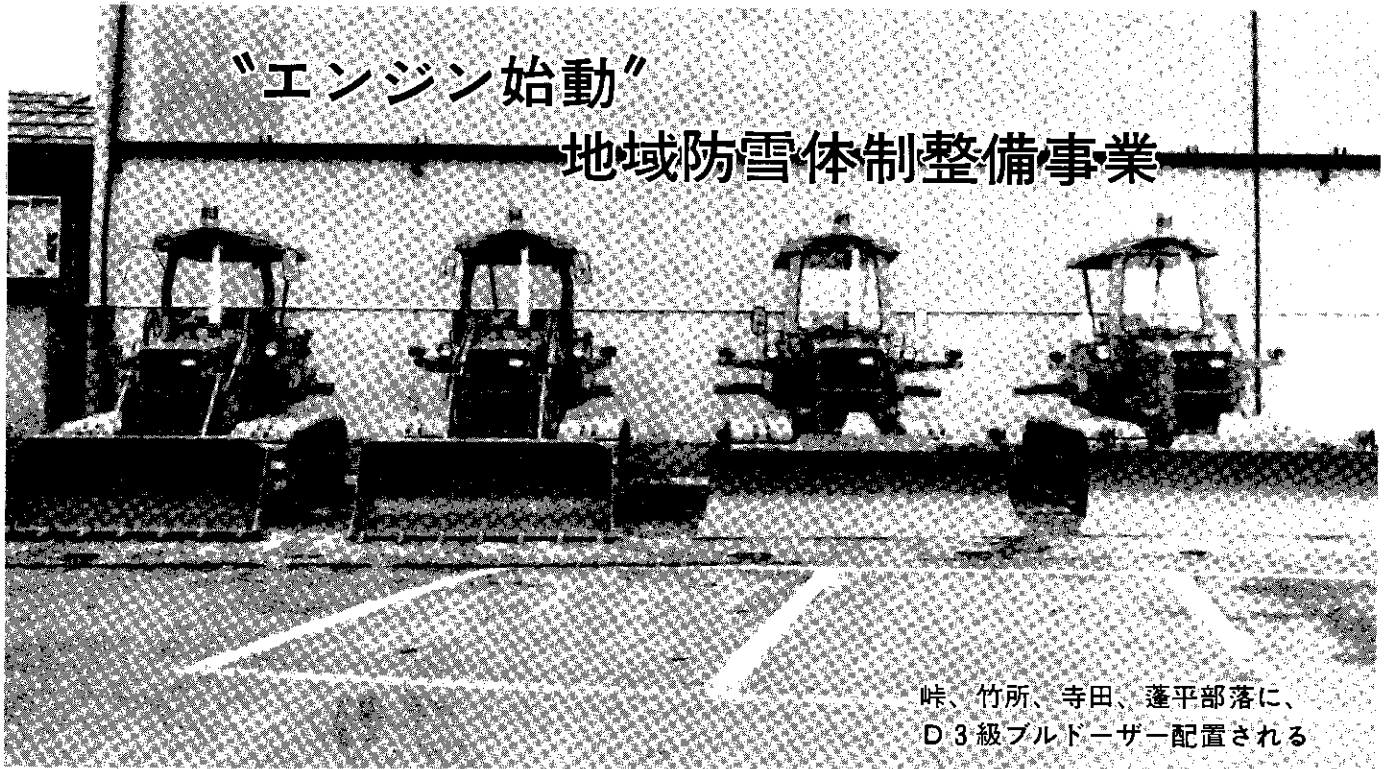


11月8日 交通安全キャラバン隊来町

“まつり” さかん



8月26日 大字松代



峠、竹所、寺田、蓬平部落に、
D3級ブルドーザー配置される

- 10月24日国道 253号儀明地内
道路欠壊し全面交通止になる
12月18日交通止解除になる

- ▼ 9月5日松代町史編纂委員会開催される



- ▲ 8月4日早稲田大学、清水望教授他4名
来町(早稲田クラブ)

- 8月4日第6回町民体育祭開催される

ふれあい広場だよ!
"全員集合"

10月18日
70余名の男女
が集合する
(総合センター)



なす ～ 価格好調 ～

今年で五年目になった茄芋の栽培も、農家数面積ともに昨年とほぼ同じですが、大干ばつの影響を受け、収量は昨年より落ちましたが、価格が良かったため減収分と干ばつの苦勞をカバーすることができました。

来年からは県の価格保障制度もできますので、栽培農家を増やして、「松代なす」の産地としての地位を、確立したいものです。



産業シリーズ ⑤⑧

昭和60年
野菜販売成績

作 目	栽 培		販 売 額			10 アール 当 り	
	戸 数	面 積	数 量	単 価	金 額	数 量	金 額
な す (生)	31	290	142,585kg	161円	22,935,013円	4,917kg	790,862円
〃 (塩蔵)			8,740	75	655,500	(301)	(22,603)
い ん げ ん	76	85	3,859	730	2,815,230	454	331,204
し し と う	10	11	3,314	660	2,186,898	3,013	1,988,089
か ぼ ち ゃ	6	30	5,124	81	413,250	1,708	137,750

昭和60年 葉たばこ収納成績

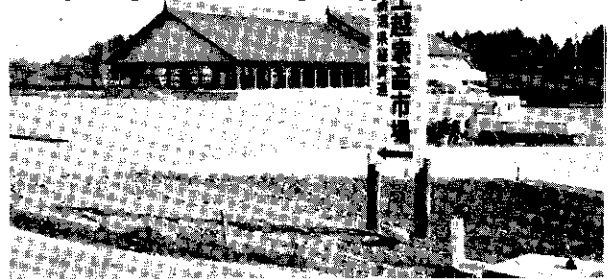
部落名	耕作者 氏 名	耕作 面積	収 量	収納代金	10アール当り		1畝当り 収納金額
					収量	収納代金	
松 代	1人	9.4	273.5	385,105	291	409,986	1,408
太 平	3	42.4	1,145.0	1,915,450	270	451,757	1,673
田 沢	1	13.0	329.0	573,280	253	440,985	1,742
会 沢	1	21.0	486.5	680,260	232	323,933	1,398
清 水	2	24.0	511.5	661,085	213	275,452	1,292
桐 山	1	14.0	362.5	561,430	259	401,021	1,549
蓬 平	1	14.0	313.0	388,400	224	277,429	1,241
東 山	7(1)	263.3	5,931.0	8,629,040	225	327,726	1,455
犬 伏	6	188.8	4,925.0	8,317,415	261	440,541	1,689
孟 地	7	186.0	4,649.5	8,102,575	250	435,622	1,743
片桐山	3	49.0	1,227.5	1,887,935	251	385,293	1,538
滝 沢	2	52.9	1,225.0	1,775,735	232	335,678	1,450
跡 平	1	15.0	344.0	441,280	218	289,559	1,330
蒲 生	2	28.1	449.5	650,485	160	231,489	1,447
福 島	1	30.0	702.0	1,173,400	234	391,133	1,672
合 計	35人	950.9	22,874.5	36,122,875	241	379,881	1,579



今年から葉たばこの品種が、白遠州一号から白遠州二号に変わりました。この品種は耐病性（主に土壌病害）があり、特に立枯病対策として導入されたものです。この品種は草丈が1mまで軟弱で倒伏防止措置が必要のため、各農家は支柱を立てて栽培されました。

成績は表のとおりですが、年々栽培戸数・面積とも減少しておりますが、今年は干ばつの被害を受けた地区が減収になったものの、昨年より反収も金額も上廻っており、努力の成果が上がっております。百万円以上の農家は十三戸と昨年より二戸増えており、畑作部門の主要作物となっております。

和牛子牛市場の成績



牛さんから寅さんへ、バトンタッチの季節となりました。和牛飼養農家にとって、丑年であることを強く感じた一年でした。

昭和五十六年十月、牛肉の完全自由化要求に端を発した和牛の市場価格の下落傾向は、全国的に長期化の様相を示してきていた。このため、母牛の肥育転用が進み、繁殖農家の著しい減少が続いた。

表一は、雌子牛の市場販売キロ単価（販売金額を体重で除した数値）の推移です。市場ごとに下がり続けたキロ単価は、昭和五十九年四月に六四二円にまでなりました。回復基調といわ

れながら、ようやく子牛価格が動きだしたのは、今年になってからです。十二月市場でキロ単価は、一、一五〇円まで上昇してきました。

たとえば、同じ一五〇キログラムの雌子牛を市場出荷した場合を例にすると、昭和五十九年四月では一六万一千円、昭和六十年十二月だと二八万一千円ということになります。その販売価格の差は、一二万円にもなるわけです。子牛価格の完全回復まで、あと一歩という所までできたことになりました。

さて、表二は昭和六十年の子牛取引の成績です。

前年に比べて、一頭当たり平



均価格は、六万円高くなっています。上越市場にも活気が戻ってきました。



春・秋のくびき子牛共進会で松代牛は、最優秀賞三点を始め多数の入賞を果たし、依然衆目を集めました。

しかし、増体系種雄牛の利用が普及し、上越管内市町村の出品子牛の格差は、縮まってきました。種雄牛の指定交配による改良には、限度があると言えます。よい子牛を産ますための系統の影響は、母牛によるところが大きいわけです。

当町では、繁殖基礎雌牛として、今年度島根県から十頭を導入

入しました。保留事業による斉一性の高い子牛生産が望まれます。今年、系統と子牛育成技術の差が、産地の優劣を色分けするものと考えられます。低迷期に培った生産コストの軽減技術を生かし、畜産経営の安定に資するよう期待します。

表1 雌子牛のキロ単価の推移 (単位：円)

年 月	キロ単価	年 月	キロ単価	年 月	キロ単価
58年 4月	868	59年 4月	642	60年 4月	841
5月	808	5月	658	5月	765
7月	818	7月	705	7月	874
9月	870	9月	743	9月	1,020
11月	754	11月	710	11月	1,045
12月	755	12月	734	12月	1,125

表2 昭和60年 上越家畜市場子牛取引成績

地域	性別	成立頭数(頭)	平均価格(円)	平均体重(kg)	キロ当り単価(円)	販売価格(円)
上越計	雌	508	232,201	254	916	117,958
	去勢	566	282,382	283	998	159,828
	計	1,074	258,646	269	961	277,786
松代計	雌	62	258,565	275	941	16,031
	去勢	69	311,348	310	1,004	21,483
	計	131	286,366	293	976	37,514

協会の活動をふりかえって

バドミントン会長

柳 卯一郎



技術や練習試合などを行い、協会と学生の交流を深めました。この催しを定期的に続けたいと思っています。

六・七年前、教育委員会からバドミントン教室の依頼を受け、協会の事業でもある青少年育成の一環として、軽い気持ちで引き受けましたが、対象者は小学生、婦人など初心者が圧倒的に多く、羽根つきぐらいと言う気持ちで、参加された人が多く、我々からしますと、うまくなつてほしいという希望がある為に、きつい練習が続く回数を重ねていくたびに、参加者も少なくなり、子供達に教えることの難しさを痛感いたしました。

昨年と今年奴奈川小学校を会場に子供達と父兄の皆さんを対象に教室を開催しました。

子供達の上達は早いもので、適切な指導を与えれば、すぐに自分のものにしてしまうものです。

指導する方も要領を得てきたのか分かりますが、自信が付いてきました。

昨年までは、我々の方で呼びかけて開催していた教室も、本年度より奴奈川地区で『汗をかく会』という会が発足し、自分達で教室を開くなど軌道に乗りました。

思いやる心

地域社会とボランティア

子供達には、バドミントンの基本的動作も必要になりますが、今の子供達は、あいさつが出来ないと、よく言われますので、練習を始める前に高学年が、主となり「あいさつ」をして終った時は、全員で後片付けをし、父兄に対して必ず、お礼の言葉という事を原則としています。また、一般の方々には運動や、

スポーツを通じて、健康の保持増進を図ることを目的とし、子供達と一緒にあって和気あいあいと練習を行っています。

協会の事業を紹介いたしました。が、我々の会員も高齢化が進んでいます。若者が一人でも多く入会していただき、活気ある協会にしたいと思っています。

「赤ちゃんといつてもゼロ歳から一歳八か月。まだ言葉も十分に話せない。話せてもほんの片言だ。そんな子どもたちが一生懸命、私をたよりに呼んでくれる。小さな赤ちゃんは泣いて私を呼び、大きな子どもは片言で『しえんしえい。しえんしえい』と呼んでくれる。

こんな未熟な私でも、子どもたちは『先生』と呼んで呼んでくれる。たまらなくうれしかった」

「便利さ」の裏で失われたつあるもの

かつては、隣近所の人々が協力してやっていたことを、今ではその大部分を業者や行政がやってくれます。例えば、引っ越しするときは業者に頼む、ゴミは清掃車が取りにきてくれる、病人が出れば救急車を呼ぶ——このように、今は他人の手をあまり煩わせずに「事」が運べる時代になりました。

しかし、そのことによって得るもの——「便利さ」も多いかわり

高校卒業後、町に残っている仲間がバドミントンをやりたいという気持ちで、学校の体育館を借り練習をはじめ、部活をやっていた卒業生が一人、また一人と増えた。

都会からのUターンしてきた人達なども加わって協会を設立し、会員数も二十数名になりました。

現在では、小・中学校の先生方も会員になっていただいて、多種多様の職業を持っている人達で構成されています。

会の目的……知識と技術の向上をかねてあり、54年・55年に、全日本トップクラスの選

手を招き、一流選手の試合や実地指導を受け、技術向上に大変役立ったことと思います。

毎週一回の練習と、春・秋の大会や、町外選手との交流を深める為にも町外の大会にも数多く出場し、七年連続県大会に臨み本年は三位に入賞するなど立派な成績を納めています。

週一回の練習にも、仕事の関係で休む人もありますが、大会2か月ぐらい前になると欠席者もなく、好プレーに拍手をし、一致団結して頑張っておるところが、少数精鋭の良い所である。

早稲田大学が合宿に入り猛練習の中、一晩、胸を借り高度な

に、他人同士が手を取り合い、知恵を出し合い、共同で作業するといったこと——連帯感——が失われつつあるとはいえないでしょうか。

目覚めさせよう福祉の心

この先、他人と触れ合う機会がますます減っていくとすれば、自分の利害に関することや興味の対象以外には目も向けず、行動もしないという風潮をさらに助長させてしまわないとも限りません。

こうした風潮の中で、次の世代を担う子供たちに、福祉の心をいかにして目覚めさせるか、社会とのかかわり合いの中で、各自の果たすべき役割をどう理解させるか——これは、家庭、学校、地域社会が、これから真剣に考えていかなければならない課題といえるでしょう。

奉仕活動を体験した少女が、一回りも二回りも大きく成長したことをヒントにして、これらの福祉教育——他人を思いやる心をどう育むか——を考えていきたいものです。

※記事中の女子中学生の作文は、全国社会福祉協議会刊「中学生高校生のための福祉教育」(新谷弘子著)から転載させていただきました。

生涯学習の時代

9



かつて「人生五十年」といわれていた時代には、子育てを終えたり、定年退職した後の人生は比較的短いものでした。しかし現在、日本は

世界一の長寿国となり、「人生八十年」といわれます。子供が結婚して独立したり、自分が退職した後も、いまでは十五年から二十年ぐらいの人生があるわけです。

高齢者と生涯学習

生きがいを高める

学習を

しかし、一般的にお年寄りは、年齢とともに社会とのつながりが薄れ、社会や家庭の中での役割が少なくなりがちです。その結果、生きる目的を見失ってしまってお年寄りも少なくありません。

長くなった老後の人生を健康に過ごし、いかに生きがいのあるものにしていくか——これは、

お年寄りにとって重大な課題であるといえます。

自治体で行う事業を有効に利用

現代社会の急速な変化に適應しながら生活を営んでいくためには、お年寄りにとってもふだんの学習が大切であり、そのためには「生涯学習」の実践が不可欠だといわれます。

こうしたことから、最近はいくくの自治体で、お年寄りの生きがいを高めるために次のような事業を行うようになってきました。



▼学習活動や社会参加、あるいは生活上のいろいろな問題について相談に応じる相談事業

目的意識をもって

生きる

生き生きとしているお年寄りには共通点があるといわれます。それは、好奇心がもう盛で友達が、家庭や地域社会の中で役割を担い、人生の基本方針をもっている、といったことです。しかしこれらは、すぐにそうしようとしても簡単にはできません。やはり、自分の目的意識をはっきりもった生き方をふだんから心がけることが肝心でしょう。

身近にある学習の機会を利用したり、地域社会の活動に積極的に参加したりして、「仲間」や「役割」や「人生の基本方針」を持つようになりたいものです。

【未来のテレビ】

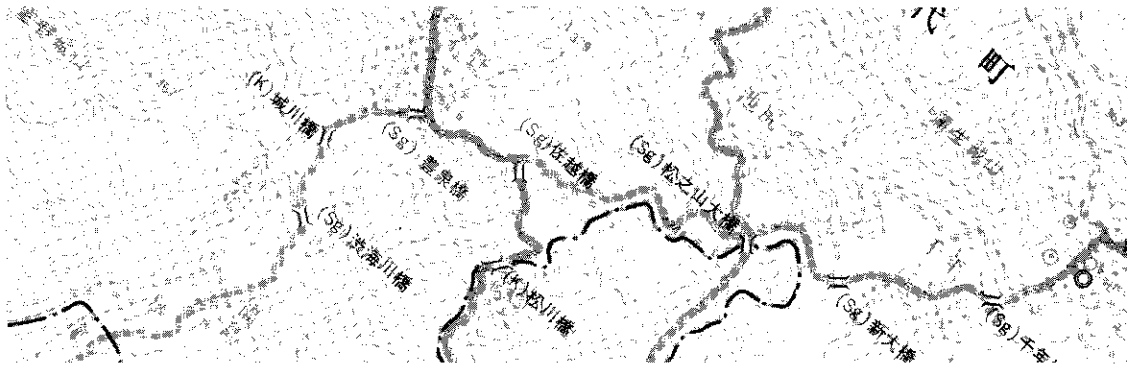
「高品位テレビ」ということを、最近よく耳にします。科学万博では、「エキスポセンタ」の多目的ホールで、縦四・八メートル、横八メートルという大画面を持つ高品位テレビが登場し、話題を呼びました。

テレビは、横に走る走査線が画面を構成していますが、普通のテレビの走査線が五百二十五本であるのに対し、高品位テレビは千二百二十五本と倍以上になるため、キメ細かい鮮明な画像が得られます。

また、画面の縦横の比率も、現在の四対三から五対三へと、横長になります。

高品位テレビは、放送衛星や光ファイバーケーブルを使った新しい時代の放送用で、現在私たちが茶の間で見ているテレビの放送システムでは利用できませんが、この方面の技術ではわが国が世界一。技術、システムの改良により、遠からず家庭用も開発されることでしょう。家庭用では大体七十センチくらいの画面の大きさになるといいますから、いま一般的に使われている十六・二十一インチなどとは比べものにならない迫力の画像が楽しめることになります。

部落紹介シリーズ 31
奈良立部落紹介(紹介者 柳 公治氏)



伊海川の源流を下って六K、流域の小高い丘に点在している小部落が当部落で地形には恵まれたところにある。川の流れに沿って県道月池松代線があり道路に平行して戸数が十八戸で昭和の初期からは半分になったが近年は増減は少ない。古代のことはよくわからないが、松之山郷に属し高田藩の統治下に松之山郷北組三十一ヶ村福島部落の一部に属していた。どこの部落にもあるが地検書に天和地検で一斉に土地の所有高が書上に明らかにになり公簿として登載されることになった様である。

幕政の統治が奥地辺狭まで及んで平氏の落人の隠逸も経世の人となった。元禄の初期あたりこの地に定着となった者が多い様である。その頃か、それ以前か、上方よりの一統の中に柳と言う兄弟の一族が土着したが兄が松代か、弟が奈良立か定かではないが、近年民族学者である柳田國男の研究では柳、柳の源流は偏と造りの間に(夕)が発祥で関西に在って山口の一部、県内



鳥屋山頂より部落をのぞむ

に点在し全国的に少ないと言われた。年代が過ぎて明治の初期、越後の国を三つの行政区に分けて、柏崎県、新潟県、相川県、とした。柏崎県を更に十一大区に分けた。その内今の東頸城を第六大区とした。この第六大区長が旧蒲田村の藤原の且那様本山彦吉郎で今の郡の役所として職務統治を行い、その主任書記として当部落から柳周治がその任に当たった。その後大島村本山元三郎が、第六大区長になったが、この時の職務補佐にも当たった。これ等のこともあつて旧奴奈川村で初代村長が明治二十二年市町村制施行で当部落の柳周治となった。行政統治は、官治主義で国府県の厳令によつたが、この村長官を離れた民情の中では部落若者衆と、都、駒形のあたりの旅芸人を招き歌舞伎の春芝居で村を賑わし、小部落だか芝居所として年々の行事が四、五日近郷近在から見物で大変な春の賑わい。損をしたとか、儲は飲んだとか、役者に惚れたとか、見込まれた等、都まで連れ発った男女若者衆の風情、長い陽春もあつた様である。近年まで神社の縁の下に在った、三間長さの厚い舞台板があつた。神楽、歌舞伎道具等家々に分散しており、集会所の新築ができた

ためそこに集めたが、風北が多く修復も、それを使いる者もなく、また仕舞い込んだ。

失張り明治の中頃か近在の旦那方の大企画で東海物産株式会社を造った。儲かったと云う風聞はないが、その事業の一部に鮭を養殖すると言うことで、田浦田村の藤原の大旦那、第六大区長の豪庭の大池に直江津から塩を買い込んで海水様にして鮭を放流、試作をくり返したが、失敗した。倒産した株券が千枚近く土蔵にあった。近郷、近在(浦田、福島、奈良立、室野、峠、大島方面)の株主旦那衆も大損したと言う。社長は当部落の柳周治氏で祭り上げられた社長で、官を離れた頃と言う。田地、田畑、



山林の大半を売って整理したとか。その株券があった、茅葺の大きな鞘蔵を近年取壊した。その折り、小屋組の梁の上の木箱を発見、しぶ塗りの和紙に、蔵の落緑の下金がめに、宝金あり、文政七年拝見。源太郎、勝太郎等々年代毎に数枚入っていた。居敷中部落衆集って棒で深く突き差したところ一ヶ所それらしい反応があった。掘り出した。米一俵入る位の大きなかめの中は、水と底に泥だけで砂金が数枚、この作業も倒産であった。笑止の外はない。

神社は八幡神社で、明治二十八年再建したものでその当時建築費一九五円三四銭七厘とある。その前の神社はいつ頃建ったのか記録がないが菅別尊を祀り古来より住民の心の支え祭りの寄り所である。年始の集り、上用丑の日、お盆、風祭り、秋祭り等々古来村衆集ってお神酒が続き茶碗酒になり、土用の丑の日には、今でも境内に筵を敷き各戸煮しめを持参し午後三時頃から大杯に至る。日暮れて神社の蠟燭立を持ち出し明々としたが夏の虫襲来に退散した。豊作を祈念しての行事である。

戦時中は武運の守神として出征の家々で他の部落からも拝みにきた。鎌倉の八幡神社が武運の守護として強じんな心身武人の沈着高傑を崇高し立派な成人を祈願する由緒の源流と言われ七五三特に、七つ詣りは八幡様がその由緒で全国的な信仰で盛況である。

さて現在は昔を偲ぶる諸行事が少しづつ薄れ人口の自然減で子供の声も聞かない。人々が作り出した伝統の年中行事も子供を喜ばせる仕組が多かった。それが古里を偲び存続される愛着でもあったが、昨今は近代社会で環境が一変した。交通旅行文化、音響歌唱文化、映写放映、踊舞、スポーツ、体育、書法、絵画、彫刻等を成熟した文化が老若を問わず新しい趣味興味が生活の中に入って、昔の祭神の

諸行事も心の中に定着されなくなった。

部落の経済はと言うと、農業と言う古代の耕地から生活給源を求めて永々として続いたが、山田、沢田は殆ど休耕し、淡海川流域だけになり庭先統きのところで川を堰き止めて灌漑川としている。干害も冷害も少ない。風害がなければ平均した収穫であるが農業所得が総所得に占める割合は十三%老人の年金額と同程度である(町全体も十一%から十五%位である)。農外所得(出稼、夏の土建、パート等)が八七%で経済の基幹であり、戸平均二百万円位が当部落の生計維持の状況である。小規模ではあるが立地条件は良い。近年急速に改良整備された道路網の中で国道級の中員補装が部落内に在り、居村線も拡巾補装であり集会施設も新築になり、無雪道路等町の行政施策がここまで生活環境を整えてくれた定住の利便は望むところはない。更に北越急行、国道、新幹線がどう地域を振興させてくれるか、それでも年々町全体で二、三%づつ何処に定着するのか、今までの統計が示している。長寿が良いかどうか問うところではないが、古代人から造り続けた地域を豊かに生かしたいものである。

書き入れ時

歳末の大売り出しは、商店にとっていちばんの「書き入れ時」といわれます。帳簿の記入に忙殺される「書き入れ時」は、もっとも売れ行きがよく、もうけも大きい時期というわけですね。

文字や数字を書きこむ「書き入れ」ということは、江戸時代には金銭貸借の場合に特別な意味で使われました。抵当物件を引き渡して借りる「質入れ」に対して、証文に抵当物件の名称を記入するだけで借りるのが「書き入れ」です。

幕末に来日したヘボン博士が、ローマ字を使って作った辞典「和英語林集成」に「イエヲカキイレテナカナル」とあるのは、証文に家屋を抵当物件として書き入れることで、借金するという意味でした。

「書き入れ時」に当たる年末の何日かは「書き入れ日」と呼ばれますが、この期間を「数え日」ということもあります。

元日までの残りの日数が、数えられるほどの少なきになるからです。もうけを数える日という意味ではありません。

栄えある

交通荣誉章 (緑十字銅章)

県警本部長・

県交通安全協会会長連盟表彰

二氏が受賞

昭和六十年、交通荣誉章等
の表彰は八月二十一日付で行わ
れ、次の二氏が受賞いたしまし
た。



☆高橋守雄さん (福島)

交通荣誉章 (緑十字銅章)

☆柳 経爾さん (松代)

県警本部長・県交通安全協会会長連名表彰

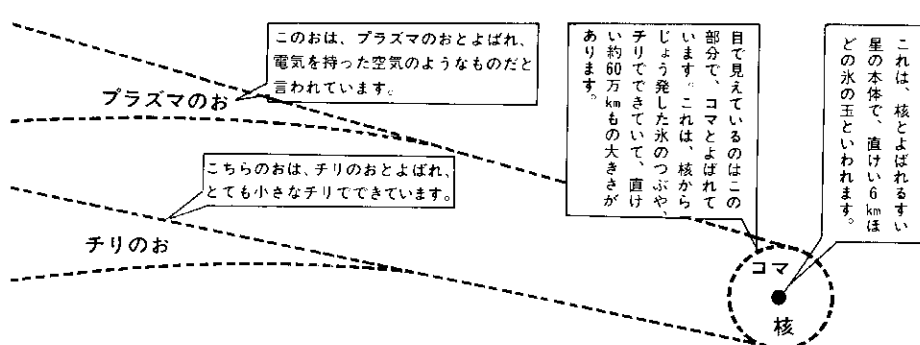


受賞された二氏に、心からお
祝い申しあげるとともに、今後
ますますのご活躍をお願いいた
します。

76年前に、世界中を
大さわぎにまきこん
だハレーすい星が、
またやって来る！

周期が七六・〇二年の大彗星。
一六八二年、英国の天文学者ハ
レーが初めてその軌道を計算し
たのでこの名がある。
○おの長さはどれくらい？
一番長くのびるときで、約4
千5百万kmといわれ、地球の直
径の3千5百倍以上もあります。
○なぜおの長さがかわるの？
太陽の熱ですい星があぶられ
て、おがでます。だから、お
の長さは、太陽に近い時ほど長
くなります。

○一番よく見えるのはいつ？
見えるチャンスは二回ほどあ
ります。一回目は、来年の一月
十日頃に日がしずんですぐ、西
の空ひくくに見えます。二回目
は、三月二十日頃から四月五日
にかけて、夜明け前の南の空ひ
くく見えます。
二回目のチャンスの時は、南
へ行けば行くほど見やすくなり
ます。



脳卒中

健康体力
シリーズ

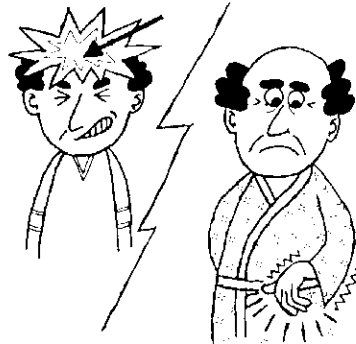
⑨

松代町の皆様、寒い日が続きますが風邪などひかず元気で過ごしましょうか。

さて昭和26年からちょうど30年の間、昭和55年まで死因の第一位として日本人を苦しめて来た脳卒中は、昭和56年から死因の第二位となりました。新潟県も同年から脳卒中は死因の第二位となっています。しかし死亡数はまだまだ多く、昭和58年、全国で14万5千人、県では4千2百人がこの病気で亡くなっています。昭和59年、東頸城郡で93人、松代町では9人が亡くなり、ねたきりや卒中後遺症の生存者も含めると、この病気がもたらす健康的、社会的、精神的苦痛は、はかり知れません。今回から3回コースで脳卒中の特集をしますので是非御一読ください。

今回は病気の理解です。

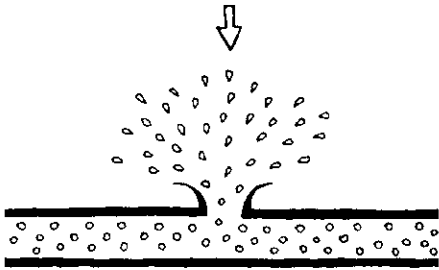
脳卒中は、高血圧や動脈硬化がもとになって、急性な脳の血管障害を起こし、意識がはっきりしなくなったり、手足がマヒしたりする病気です。



以下の種類があります。

①脳の血管が破れて頭蓋内に出血するもので、突然発症して意識不明になることが多いもの。

脳出血 (のうしゅっけつ)



a 脳出血

脳の細い血管が破れ、脳の中に出血して、そのまわりの脳の組織がこわされる。高血圧の人に多い。

最近では高血圧のコントロールが良く行われるようになって、減ってきている。急に意識を失って倒れ、半身のマヒが起きやすい。



b くも膜下出血

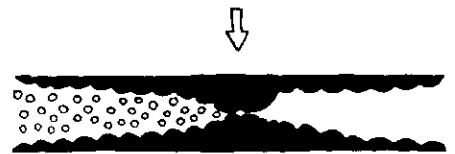
脳の表面を覆う「くも膜」と呼ばれるくも膜の果のような膜と脳の間に出血する。原因として一番多いのは、動脈のコブが破裂した場合、再発が多い。激しい頭痛を伴う。

②脳の血管が狭くなったりつまったりして血液が流れにくくなり、酸素や栄養がゆきわたらな場合。

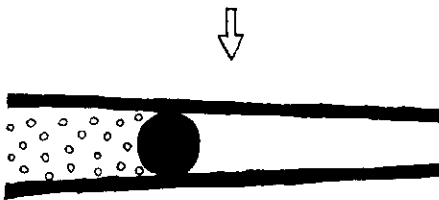
a 脳血栓

動脈硬化などのために、脳の血管が狭くなりそこに血栓という血のかたまりがつかえ、ふさがれ、それより先の脳の組織に血液が流れなくなることからおこる。

脳血栓 (のうけっせん)



脳栓塞 (のうせんそく)



b 脳栓塞

心臓や頸の動脈壁にできた血のかたまりなどがはがれ

て脳の血管に流れていき、そこをふさぐためにおこる。③一時的に脳卒中のような症状を呈するもの。

a 一過性脳虚血発作

脳の血管に血栓の小さなかたまりが一時的にひっかかった場合と、動脈硬化で血の流れがよくないのに、血圧が急に下がり、血流がいつそう悪くなっておこる場合がある。

b 高血圧性脳症

急激な血圧上昇のため、頭痛、嘔吐、こんすいなどをおこす。

脳卒中の症状や重さはその病気の種類や病気がおこった部位、大きさ等によってちがいますが、一般的には意識障害や片マヒ、しゃべれなくなる等があり、ねたきりや、ボケの大きな原因になります。この病気はさけようと思ひ、努力すればそうとう効果が上がる病気です。今回は脳卒中を防止するための日常生活についてです。お楽しみに。



越後松代花ひさご

十日町・クロス10^{テン}へ



松代ひょうたんクラブ(代表
万羽卓司氏・会員45名 男性18
名女性27名)の作品が「越後松
代花ひさご」の商標で十日町地
域地場産業センタークロス10で
販売されることになりました。

松代老人クラブでは、趣味を
広げようと昨年8月、高柳町岡
田の大塚さん宅に代表2、3名
でひょうたん作りの指導を受け、
今春大ひょうたん、千成ひょう
たんの種子を取り寄せ、3畝歩
位の畑に蒔くことから始まり、
当初五百個の収穫を見込んだが
異状な日照り続きに悩まされつ
つも、三百個ほど収穫しました。
作業工程は、水漬けから始ま

り種抜き、乾燥、塗料を6回塗
った後ペーパーで磨き仕上げの
つや出し塗料を塗り栓とひもを
つけて完成する。

磨き方によっていろいろな模
様に仕上がり、完成品は目を見張
る色あざやかなものばかりで、
作品は文化祭においても展示即
売され90個が売れました。今後
製作される材料代の足しにと12
月12日、クロス10へ50個を箱詰
めし出荷しました。

趣味で始められた「越後松代
花ひさご」が松代町の特産品と
して定着し発展することを期待
します。

剣道初段合格なる!



現在剣道教室二十二人の中
にも今年の昇段審査で三級
に三名が合格し、来年も立
派な剣道初段が誕生する事
を期待したいものです。
なお、合格者は次のとおり
です。
○剣道初段合格者
小島文彦(松中三年)
西潟一浩(松中三年)

去る八月四日、新潟県剣道連
盟主催による昇段審査会が、六
日町北辰小学校において開催さ
れました。当日は、中魚沼南魚
沼郡から四百人もの剣士達が受
験し初段から三段の昇段審査が
行われました。
昨年二名の初段が誕生した剣
道教室でも、今年は中学三年生
の二人が受験し、見事初段に合
格いたしました。
彼らは、四年間剣道教室に通
い続けメキメキ技をみがいて、
最初の七級から昨年初段を受験
する事のできる三級に合格し今
年の昇段審査に望んだものであ
ります。彼らは中学校の部活で
疲れきった体にも負けずに、
道場に力いっぱい気の合い
を入れて練習に打込み頑張
ってきた成果が表われたも
のと思います。

青年海外協力隊に参加して

牧田 友幸 (峠)



○派遣国、派遣先〓フィリピン
国立職業訓練所
○職種〓工作機械
○派遣期間〓60年3月27日～62年3月26日まで
○担当シヨブの概略〓訓練に使用され得る機械15台、訓練生30人、インストラクターへ

私が協力隊に応募した理由は十代の頃、海外で旅行でなく現地の人と実際に接することのできる外国での生活を夢として持っていたのですが、実際問題として英語は話せないし、資金的にも不可能ということで二十才過ぎにはその夢は夢で終わってしまいました。しかし、去年(1984)職場の上司に協力隊を

紹介されて、夢が叶えられると思ひ応募しました。とにかく二年間の協力活動で現地の人の考え方、文化、習慣を理解するようにし、その上で技術移転が行えれば幸いと考え協力隊に参加しました。

東京で英語を中心とする三ヶ月の訓練終了後、フィリピンに来てみると経済、文化、習俗、物の捉え方が大変に異なるので覚悟はしていたものの、こうも異なるものかと驚嘆しました。一方、フィリピンでも随分と地域差があることがわかり私の知り得るフィリピンというのの一部であるのを思ひ知らされました。この国では、日本と違う点は数限りなくありますが、特に異なる点は400年近い被植民地の歴史を有すること二十以上の言語があり英語が最重要言語、多民族、外国からの援助が膨大であること等ですが、逆に言う

日本人のまとまりを可能にし、日本を発展させ、そうでないフィリピンは発展できないことを肌で感じています。

このようにすべてが、異なる国で協力活動を進めるにはこの国に合わせた訓練を行わなくてはならず、単なる日本の技術、考え方を強制することは避けて、現地に合った技術に変化させた上で、技術移転を行わねばならないので時には、あまりの日本との格差により何をどのように進めていけば良いのか見当もつかないこともあり、悩みました。自分自身の協力活動に対する考え方を赴任してから四ヶ月間かけて、この二年間の活動の基本線としてつくりあげることができました。

現在、その基本線をもとにして具体的活動を進めているのですが、インストラクター、トレ―ニーともに大変に熱心なのでこの二年間で成果を挙げられるよう私自身期待しています。ところでその基本線というのは四ヶ月間悩んだにもかかわらず、日本で行う訓練の原則と同じ結果に落ちついてしまっているのです。フィリピンでも今考えれば訓練の原理は同じで単に表面の殻が異なるだけではないかと考えています。このことはフィリピン人と日本人の考え方についても核心は同じなのでないかなどと思ったりします。ただ、これはちよつと難しい問題でも判断を下せませんが、残り一年四ヶ月の課題にしようと思つてます。



しろい経験をしましたが協力隊に参加して良かったと最も思うことはやはり仕事でも生活でもフィリピン人と付き合えることです。残り一年四ヶ月いろいろ困難にあうと思いますが、この国を離れる時それが人生の楽しい思い出となるよう頑張りたいと思つています。

フィリピン諸島

【自然のようす】 台湾の南にある、大小約7000の島々の集まりがフィリピン諸島である。大きな島としては、北のルソン島と南のミンダナオ島があり、人口約3500万の半分近くが、ルソン島に住んでいる。

この国も、高温多雨の熱帯の気候だが、地形が複雑なので、場所によって雨季などにちがいがあある。

山地が多く、平野は少ない。また、火山も多く、とくにルソン島のマヨン山は、富士山ににて美しい。

【人々のくらし】 ここは、長い間、植民地だったため、文化やくらしにスペインやアメリカのえいきょうが強くのこっている。住民の約90%はキリスト教信者であり、スペイン語や英語も、かなり広く使われている。また、住民も、原住民のマライ人のほか、スペイン人やその混血人も多い。

執筆者名簿

① = 自然史
② = 歴史
● = 主筆

執筆項目	氏名	勤務先
① 地質・地形	●高野 武男	県立高田高等学校
① "	米山 正次	吉川町立吉川中学校
① "	今井 了	上越理科センター
① "	水野 敏明	上越市立城東中学校
① "	天野 和孝	上越教育大学
① "	渡辺 隆	上越教育大学
① "	久保田 吉則	東頸・理科センター
① 河川・水質	●小島 昭男	県立新井高等学校
① "	竹内 実	頸城中学校
① "	熊木 文一	松代中学校
① 気象・気候	●万羽 卓司	元・松代高校教諭
① "	久保田 吉則	東頸・理科センター
① "	高橋 徳	県立松代高等学校
① 動物	●牛木 博	中郷村立岡沢小学校
① "	藤田 久	県立興農館高等学校
① "	関谷 八郎	中頸・吉川町郵便局
① "	下越 克男	糸西地区理科センター
① "	村山 暁	直江津南小学校
① 植物	●山岸 秀夫	柏崎市立第五中学校
① "	松井 浩	県立高田北城高等学校
① "	高橋 八十八	室野郵便局
① "	美濃和 英	蒲生小学校
① "	秋山 和喜	沼木小学校
① 原始	●秦 繁治	県埋蔵文化財パトロール員
① "	岡本 郁栄	県教育庁・文化行政課
① 古代・中世	●平野 団三	上越市文化財調査審議委員
① "(含、近世)"	●中沢 肇	上越市文化財調査審議委員
① 古代・中世	花ヶ前 盛明	県立直江津高等学校
① "(含、近世)"	田浪 竜之	寺院住職
① "(含、近世)"	大場 厚順	県立高田北城高等学校
① 近世(含、近現代)	●関谷 哲郎	町史編さん室
① 中・近世 神社	宮沢 正翁	松代中学校
① 近代	●小堺 又七	町・文化財審議委員
① "	山本 善平	旭小学校
① 近代(含、文化財、現代)	●関谷 友一郎	町・文化財審議委員
① 現代	●鈴木 益蔵	松代町役場
① "	小野島 正守	町・文化財審議委員
① 現代(外、資料篇)	●高橋 渡	前・松代小学校長
① 現代	西潟 浩平	松代町教育委員会
① 文化財	●梅沢 勤	牧小学校

待望の 松代町史編纂事業始まる

かねて久しく松代町史を作れないかという声が上がっておりましたが、数年来古文書の解読整理も進んできましたので、いよいよ町史作成の事業にとりくむことになりました。

六月議会では承認をいただき、作成にあたっては、現在の松代町を構成する旧松代、山平、奴奈川村全般にゆきわたった内容に留意し、全町民、ならびに郷

里のゆく末を思いつつ今は他郷に出られた、以前町民だった皆さんにも座右の本として読み親しまれる町史を作りたいものと関係者一同は考えております。次に、この事業の概要をお知らせします。

一、本の内容

約一千ページ。自然編・歴史編をもって構成する。

二、事業期間

約三年間、昭和六十三年本刊行。町内希望販布の予定。

三、町史編纂委員会構成

委員長 松代町長
委員 秋山利作
松代町助役 鈴木益蔵
総務課長 樋口芳男
前公民館長 高橋秀夫
教育振興会長 松縄教一
(松代中学校長)
副会長 田中 恵
(松代小学校長)

松代町文化財審議委員 関谷哲郎

四、町史編集委員会構成

監修者

自然編 上越教育大学教授 菅野 三郎

(敬称略)

歴史編 元新潟薬科大学名誉教授 中村 幸一

五、町史編纂室

町教育委員会(T・E・I、七二三〇一)内に置き、二階の小会議室に設置されました。
(室長 銘木町助役 非常勤 関谷 哲郎)

六、今後の展望

現在、個別に資料を調べたり

合同巡検をしてみると、改めてわが町のすばらしさにゆき当るかと思うと、わからなくなる一面もあります。来たる雪融けの春から、自然編部会の先生方も調査に入ります。

歴史部会も、神社、堂、個人のお宅へも訪ねてお世話になると思いますが、その節は何とぞご協力をお願いいたします。古文書については、紙片一片でも専門の読む者にとっては貴重なものを発見する場合がありますので、必ずしも立派なものでもなく、ホゴ同然のものでも拝見させていただきます。



⑬

バイクへのあこがれ

らバイクを買ってもらおうという。ばくも欲しいなあ」

■まだ先のことだからと、いいかげんな返事をしない

こうした子供の話を、親が、まだ先のことだからと、安易な気持ちで受け答えをするのは、将来のトラブルのもとになりかねません。例えば「勉強のほうがお留守にならなければね」とか「自分のお金で買えるのならいいよ」あるいは「お前のような憶病な子がバイクになんか乗れるのですか」などなど。

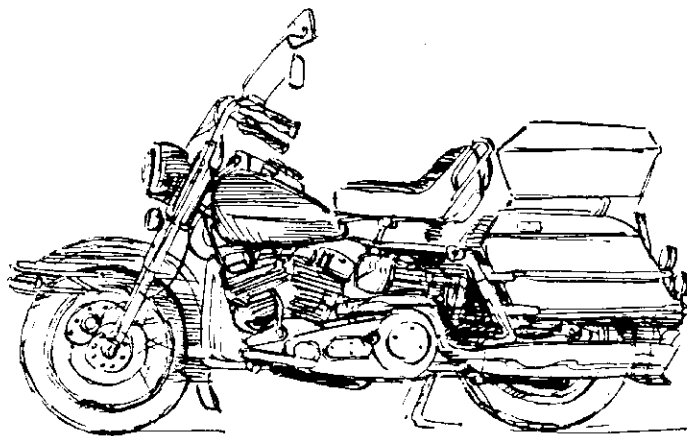
こうした親のことは子供はよく覚えていきます。これが「伏線」になって、いざ子供が16歳になったとき「あのとき、こう言ったじゃないか」とストレートに迫ってきたりして、親子の間にバイクをめぐるトラブルが発生するケースを多くみかけます。というの、子供が乗りたがるかと二つ返事でOKを出す親は少なく、ほとんどのご両親はなんとかやめさせようと急に真剣になり出すからです。その理由は、わが子にケガさせたくない、そして他人を傷つけない！

これです。

ご両親はバイクに対する態度を明確に打ち出す必要があります。しかも、子供がまだ中学生の段階にです。

■乗せたくないならはっきりと「ノー」と言う

バイクを認めるのなら、いか



に安全に乗るかという交通人としてのルールとマナーを話し合ふべきです。一方、乗せたくないのなら、「打診」の段階ではっきり「ノー」と言うことです。「お母さんは絶対に許しませんから」と口調は静かでもガンとして曲げない態度を貫く。今

のあなたが親の保護のもとにある以上は、お父さん、お母さんの意見に従ってもらいます」とはっきり言うことです。そうすると子供も不満だらけの顔つきとは別に、心では「これじゃ、うちのおふくろ、何を言ってもダメだな。あれが生きざまなんだから、しょうがない」と思うものです。しかし、ことばでは「どうして？ いまどきそんなこと言う親はいないよ」と反発してきます。「子供に対する理解がなさすぎる……よそのお母さんに聞いてみてよ」

ここで、親がどう反応するか、これがポイントです。「理解のない親とは何ごとだ！」とか「そういう口のきき方は……そもそもお前、ここに座りなさい」と高飛車に乗るのは、いわば子供の「術中」にはまるようなものの、反発を招いて、親子関係そのものにヒビが入りかねません。親にしてみれば「理解のある親でいたい」、子供にも納得ずくで乗らせないようにしたい」という気持ちが生じたためでしょう。しかし、子供に何と言われようが、「これがお母さんの生き方です。無理解だ何だと言われようが、おまえのことを考える」と、これだけはOKとは言えない。その代わり、お前が一人前

の年になったら好きにおやりなさい」と静かに「ノー」を繰り返すことのほうが説得効果があるのではないのでしょうか。自分に対して正直に、子供のことを一生懸命に考えている親であるなら、素直な気持ちで言えるはず。子供にどういふことをばを浴びせられようとも。

〔指導〕岩佐壽夫、前警視庁世田谷少年センター、カウンセラー

スポーツは子どもの性格を変えます

礼を重んじる武道に通ううち、子どもに落ち着きが出てきた、練習が楽しいのか、集中力が出て勉強もよくするようになった……よく耳にする話です。

スポーツは子どもを少なからず変えます。仲間とつきあうためには協調性も必要でしょう。スポーツは家庭や学校とはちがった勉強の場なのです。



ふれあいひろば in Naeba

募 集 要 項

- 目 的 雪とのふれあい・人とのふれあい・スポーツとのふれあいを通じて若者たちの交流、親睦を図る。
- 期 日 1986年1月25日(土) ~ 1月26日(日) 1泊2日
- 会 場 苗場国際スキー場、浅貝スキー場
- 内 容 ふれあいスキースクール、ふれあいコンパ、雪上イベント他
- 参 加 者 町内在住及び町内に勤務の独身男女を対象とする。
※ 先着30名になり次第締切らせていただきます。

□参 加 費

7,000 円 (1泊2食付、コンパ費用含む)

□申込み方法と締切 1月10日までに町総合センターへ申し込んで下さい。但し定員が30名ですでお早めにお申し込み下さい。

※ お問合せは町公民館(☎7-2301)まで!



共 催 町連合青年団 & 町公民館

年末・年始の火災予防

年末・年始と降雪期を迎え、火気を取扱う機会が多くなります。一人一人が注意し火災を出さないようお願いします。

寝る前に必ず火の元点検をお願いします。

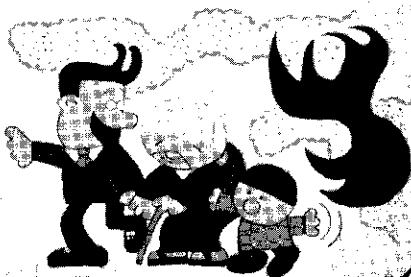
今日も
今夜も



「怖いのは“消した
つもり”と“消えたはず”」

防 災
シリーズ ④③

おとしよりを火災から守ろう



役所前・分遣所前へベニア板2枚半の大看板設置。

消防署では、消防福祉50日運動（11／15～1／3）の期間中に次のような職員のアイデアあふれる手作り運動を実施しております。

消防福祉50日運動実施中

“おとしよりと
子どもを
火災から守ろう!!

火の用心

松代分遣所

老人会対象の防火懇談会実施

松代(8日)、蒲生(10日)、室野(15日)約200名の方々が出席され“火の用心せんべい”を食べながら“防火講話”、“映写会”を熱心に視聴されました。



青竹利用の手作り一輪差しの
作成配布、町に在住する1人
暮らしのお年寄り32名の方々
に配布。

尚、行事実施にあたり地域
住民の方々の暖かい御協力
に対して、職員一同感謝い
たしております。



戸籍の窓口

十一月受付分

幸せ多い人生を（結婚）

山岸武一・柄澤律子

石黒良泉・藤ノ木春美

(室野・洞泉寺)

五十嵐保・柳郁子

(松代・原田屋)

森龍憲・垂井葉子

〔松代・釜田住宅〕

げんきなよい子に（誕生）

柳達也・父信夫・母千秋

(二男・千年・ダスキン松代)

父洋一・母三枝

(長女・室野・室野教員住宅)

ご冥福を祈ります（死亡）

関谷ツジ 81歳 松代かまだや

本柳常三郎77歳 松代 常栄屋

小堺モミ 78歳 室野小堺板金

柳 清八 76歳 松代 清栄屋

佐藤セキ 62歳 松代 小町

文芸



短歌

短詩の世界

野石 ロマン

土ぼこり立つる畠に水打ちて
 蒔かれし大根の色増すみどり

日焼け田の掻き均らされし水澄
 みて色新たなる紅葉を映す

所在なく時雨降る日のひととき
 を眺むる菊に目を洗わるる

枯れ草も木々の梢も白み帯び
 角ばる山は曇天を負う

寒降るバスの中にて客われも
 心素直に無口となりゆく

鎖されて超然とせる島国の
 風土に育つ短詩の世界



しづみ句会

鶏足山村秋晴れの嫁御寮
 味噌煮豆湯気はのぼると暮れの
 秋 立石

家々の性面白し冬構え
 まわり道すれば冬木の森に入る
 淡水

霜踏んで出かける今日は土工哉
 小春日やぬげ田を直す川向う
 紅茶

冬めくや女土工の頬かむり
 冬の日や杉の葉拾う人ひとり
 静舟

連根掘る手の赤くして山眠る
 北風の障子の穴に音高し
 炳史

越後路は紅葉する山散りし山
 朴落葉落葉の上に落ちし音
 公明

小春日や句の友黄泉の人となり
 大寺の嫁の座決まり紅葉映ゆ
 八千代

晩秋の湯宿に祝う老人会
 高山をとりまく連山秋深し
 記沙

名月や石に樽置き茶椀酒
 我が星はどこに旅寝や天の川
 一元

ひょうたんも秋はきれいに出来
 上がり
 美根

句仲間の常仙世を去る霜月に

雲切れし一ときありし十三夜
 都路の並木の銀杏実はみえず
 枯水

枯枝に時雨の玉粒光りをり
 朝寒や子牛市場のほど遠く
 悠歩

一服の寺人足に小六月
 大櫻裸木のもと石仏
 六花

出稼者激励会や村の秋
 出稼者出尽くし村の秋静か
 滝沢 静水

味噌玉を煮る湯のたぎつ雪催い
 気まぐれな陽の移ろえり櫓の実
 耕山

今日よりは飯場住いか冬の月
 山茶花や出稼ぎに來てまだ三日
 在干葉 鐵堂

黄落の掃き寄せてある石だたみ
 冬構え終えて座敷のやや暗し
 折人

日曆に手垢残して出稼に発つ
 風に鳴る裸木鋭く天を衝く
 耕人

短日や孫のひらがなはるかより
 トラックのあおりの飛雪傘でよ
 け ふさ女

犬が踏む薄氷の下水動く
 どよもして雷わたるゆえ真夜の
 雪 龍峰

蒲生句会

園芸一ロメモ

松代園芸愛好会

樹形のいろいろ

(16) 石上樹

石付きの一種で、石の頂上に
 植え、根が石を抱いて鉢に及ぶ
 ようにしたものです。管理は普
 通のものと全く同様で、根は石
 を抱いているので太りがよいの
 です。とくに、カエデの石上樹
 は、年を経ると根が岩盤状にな
 って、石を
 包んでしま
 う奇観を呈
 します。樹
 種は石付き
 に準じます。

根張り

一般には
 石付きに準
 じます。

幹

見ばえの
 するの、蟠
 模様木、蟠
 幹・半懸崖
 などです。



カエデの石上樹



樹冠

丸味を帯びさせ、全体に低く
 つくるのがよいでしょう。

枝

独立木として十分鑑賞できる
 ものをえらびます。

根元近くに一の枝があり、下
 枝が発達していること。